


| | | | |
|--------------|---|---|---|
| 日塗工 整理No. | 2015-0 1 | 労働災害状況調査表 | |
| 発生会社 事業所 | | | |
| 災害発生場所 | 第2製造課 A-4工場 | | |
| 災害発生日時 | 2014年 9月 9日(火) 17時 30分 天候(晴れのち曇り) 温度(26.2℃)湿度(55%) | | |
| 災害区分 | 不 休 災害 休業災害(休業: 日) | | |
| 被災者 | 部門 | 第2製造課 | 雇用形態 <u>正社員</u> 、派遣、契約、その他() |
| | 年齢 | 40歳 | 性別: <u>男</u> 女 勤続年数 1年2ヶ月 経験年数 1年2ヶ月 |
| | 傷病名 | 病名 (第8肋骨骨折(ひび)、腰椎捻挫) | |
| | 傷病部位 | 肋骨、腰 | |
| 災害発生状況 | 充填終了後のタンク(4.5KL、直径160cm、高さ220cm)の壁面をカキトリ棒(アルミ製、長さ3.2m、重さ2.8kg)を使用し塗料の掻き取り作業をしていた。 タンク上部より下部に沿って掻き取り作業中(作業時間3分程度)腰に激痛を感じ、作業を止め休憩した。 様子を見ていたが、痛みが治まらないため課長に報告し病院に行った。 診察結果、第8肋骨骨折(ひび)及び腰椎捻挫であった。 | | 状況概略(写真orイラスト)  |
| | 災害の型 ^{※1)} 10 動作の反動、無理な動作 | | 作業の形態: <u>定常</u> 非定常、その他() |
| | 起因物: カキトリ棒 | | 特記事項 |
| | 原因分類 | 1.人的要因(man)腰に負荷が掛かり易い姿勢(前かがみ)で作業を行った。 2.物に関する要因(machine)カキトリ棒が重く、先端のヘラに角度がなく作業性が悪い。 3.環境要因(media)カキトリ棒の長さに対してタンクの口が狭く掻き取りにくい。 4.管理的要因(management)腰痛予防に対する教育をしていなかった。 | |
| 対策 | <ul style="list-style-type: none"> カキトリ棒の材質等を検討し、作業性の良いものに変更する。 正しい作業姿勢、作業時間にて作業を行う。 作業前には必ず準備体操を行う。 危険予防の教育を行う。 | | |
| 備考 | 対策分類 ^{※2)} : 1-6、2-6 類似箇所の摘出: | | |

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)